

ウクライナ難民支援 / 避難所用 紙の間仕切りシステム



Year: 2022

Location: Ukraine

Program:

Status:

Type:

Structure:



<<ウクライナ難民支援プロジェクト

PHASE 4

リヴィウ市の病院

PHASE 3

ストーブ支援

PHASE 2

スタイロフォームハウジングシステム

PHASE 1

避難所用間仕切りシステム

□

避難所用 紙の間仕切りシステム

NPO法人ボランタリー・アーキテクト・ネットワークおよび坂茂建築設計では、ウクライナの近隣諸国へ逃れた難民が避難する施設で避難所用 紙の間仕切りシステム□Paper Partition System□以下PPS□の提供を開始しました。紙管でできたフレームに布を掛けてできるシンプルなパーティションで、災害時の避難所で生活する人々のプライバシーを確保するためのものです。これまでに、東日本大震災（2011）、熊本地震（2016）、北海道地震（2018）、九州南部豪雨（2020）など多くの災害で利用されてきました。

POLAND

Supported by

プシェミシル " ウクライナの家 "

Team

- Hubert Trammer
- Dominik Pękalski
- Hanna Dzielińska
- WLila Kalinowska
- Tatiana Nakonieczna
- Jaga Hryniszyn
- Dane Kostin

ヤロスラフ近郊 ウニタテム財団

Installation was coordinated by Hubert Trammer.

スウブスク 難民センター

Installation was coordinated by Hanna Dzielińska and Dominik Pękalski

Team

- Katarzyna Dobkowska
- Agnieszka Wardowska-Puculek
- Rafał Jeka
- Tomasz Stepnowski
- Adam Kiwior

- Maciej Araszkiewicz
- Ośrodek Sportowo

ポーランド北西部 スタロガルド・グダンスキ

Installation there was coordinated by Hanna Dzielińska and Dominik Pękalski

Team

- Hanna Dzielińska
- Dominik Pękalski
- Anna Lembicz
- Jolanta Massella
- Tomasz Czaja

ワルシャワ ビエナーレ・ワルシャワ・ギャラリー

Installation there was coordinated by Dominik Pękalski

UKRAINE

Installation there was coordinated by Oleksii Vorstikov, the architect from Re+ office.

リビウの避難所

リヴィウのリセウム・グロノ

ウマンの大学内の体育館

ウマンのスポーツスクール

リヴィウの48番学校

チェルヴォノフラートの8番学校

SLOVAKIA

コシツェ ヴォヤニ発電所 – コシツェ

スロバキアのコシツェにあるヴォジャニー発電所に間仕切りが20ユニット設置されました。

Team

- Mária Benacková Rišková
- Ľubica Šimkovicová
- Creative Industry Košice, n.o.
- Asociácia Samaritánov Slovenskej republiky
- LAVACOM
- Martin Beňák

Supported by

ブラチスラヴァ

スロバキアにおける支援は、New European BauhausのオフィシャルパートナーであるManifest2020とPassive House Institute Slovakiaを主宰するĽubica Šimkovicová氏の協力のもと、3月27日にブラチスラヴァの避難所に39ユニットのPPSを設置しました。

Team

- Ľubica Šimkovicová
- Mária Benacková Rišková
- Dana Kleinert
- Peter Morgenstein
- Lucia Senderáková
- Kateřina Tesařová
- Laura Zolnianska
- Anatolii Kliuchka
- Anton Arlamov
- Jozef Šefčík
- Adam Kalina
- Alica Durbáková
- Alžbeta Ďurecová
- Nora Naddourova
- Ilona Fedosieieva
- Yelyzaveta Bataron
- Artem Nikipelov
- Yelyzaveta Frundina

Supported by

Photo : Ľubica Šimkovicová

GERMANY

ベルリン テーゲル空港

5月4日、ドイツ、ベルリンの閉鎖されたテーゲル空港に設置されたウクライナ難民施設で、施設運営者を前にPPSのデモンストレーションを行いました。他の間仕切りに比べてPPSのコストや実用性が理解され、導入についての検討をしています。

FRANCE

パリにおける設置は、Shigeru Ban Architects Europeのスタッフとベルサイユ建築国立学校のボランティアの学生により行われ、パリ10区のGymnase Marie Paradisに計48ユニット、パリ12区のGymnase Victor Young Perezに計28ユニットのPPSを設置しました。

Supported by

パリ第10区 – ジムナーズ・マリー・パラディ – パリ 第10区

Madam Mayor of Paris 10th district in the middle

パリ第12区 – ジムナーズ・ヴィクター・ヤング・ペレス

Photo: Voluntary Architects' Network

UKRAINE

ウクライナにおける支援は建築家のMykhailo Schevchenko氏、Oleksandr Anisimov氏、Oleg Drozdov氏の協力のもとLvivにある獣医大学Galchyna体育館で設置を行いました。

Team

- Mykhailo Schevchenko
- Oleksandr Anisimov
- Oleg Drozdov

Supported by

1. University of Veterinary (Before)
2. University of Veterinary (After)
3. Installation at SC Galychyna
4. SC Galychyna (After)
5. SC Galychyna (After)
6. inside of PPS

Photo:

- 1: Mykhailo Shevchenko
- 2: Andrii Holovchenko
- 3-6: Andr Golovchenko

POLAND

ポーランドにおけるPPSの支援は、建築家 Hubert Trammer氏（フォンデアライエン欧州委員長のイニシアチブによるNew European Bauhausのメンバー）およびJerzy Latka氏（ヴロツワフ工科大学）らのグループによって進められています。

Team

- Hubert Trammer
- Jerzy Latka
- Agata Jasiolek
- Weronika Abramczyk
- Hanna Dzielińska
- Dominik Pękalski

ヘウムの元スーパーマーケット

3月11日、ウクライナ国境付近に位置するChelm（ヘウム）にある元スーパーマーケットに319ユニットのPPSの設置を行いました。翌12日から難民の滞在施設として利用が開始されました。PPSはヴロツワフ工科大学のヴェロニカ・アブラムチクさん率いる学生によって設置されました。

Photo: Voluntary Architects' Network

ヴロツワフ鉄道駅

3月12日、ヴロツワフ中央駅に60ユニットのPPSの設置が行われました。設置は建築家Agata Jasiolekを中心にヴロツワフ工科大学のボランティアの学生によって行われました。

Photo: Maciej Bujko

ヴロツワフ科学技術大学のプロトタイプ

PPSの設置を行う前の検証として、地元の紙管工場に発注した紙管を使ってPPSのプロトタイプがヴロツワフ工科大学で製作されました。1ユニットのサイズを2.3m x 2mとしました。

Photo: Jerzy Latka